

令和7年度 秋田県健康づくり審議会 がん対策分科会

がん登録部会 議事概要

- 1 日 時 令和8年2月5日（木） 18時00分～19時00分
（オンライン開催）
- 2 委員の出席
出席委員数：5
欠席委員数：2
- 3 議 事
 - （1）報告事項
 - ①秋田県がん登録資料利用の申請状況について（資料1）
 - ②全国がん登録に係る指定診療所について（資料2）
 - （2）協議事項
 - ①秋田県がん登録事業情報提供事務処理要綱及び秋田県における都道府県がん情報等に関する利用規約の一部改正について（資料3）
 - ②「令和2年秋田県がん登録の集計報告」について（資料4）
 - （3）その他
 - ①「令和3年全国がん登録 罹患数・率報告」について（参考資料1）
 - ②「令和4年全国がん登録 罹患数・率報告」について（参考資料2）
 - ③「令和5年全国がん登録 罹患数・率報告」について（参考資料3）
 - ④「平成28年全国がん登録 5年生存率報告」について（参考資料4）

議 事 概 要

（開会宣言、健康づくり推進課長のあいさつに引き続き、戸堀部会長の進行により議事を開始した。）

（議事（１）報告事項①秋田県がん登録資料利用の申請状況について）

○ 事 務 局 （資料１に基づき説明）

（異議なし）

（議事（１）報告事項②全国がん登録に係る指定診療所について）

○ 事 務 局 （資料２に基づき説明）

○ 部 会 長 廃院以外の理由で辞退している医療機関が増えたように思われるが、その理由は何か。

○ 事 務 局 理由としては、（２）協議事項①「秋田県がん登録事業情報提供事務処理要綱及び秋田県における都道府県がん情報等に関する利用規約の一部改正について」に関して、厚生労働省より県に対し改正の通知があった際に、全指定診療所に周知したところ、複数の医療機関から「現在の体制ではがん登録を継続していくことが難しい」等といった連絡があったためである。

○ 部 会 長 承知した。

（議事（２）協議事項①秋田県がん登録事業情報提供事務処理要綱及び秋田県における都道府県がん情報等に関する利用規約の一部改正について）

○ 事 務 局 （資料３に基づき説明）

（異議なし）

（議事（２）協議事項②令和２年秋田県がん登録の集計報告について）

○ 事 務 局 （資料４に基づき説明）

○ 柴田委員 秋田県のがんの粗死亡率は３０年近くワーストであるが、年齢調整死亡率ではワーストではない。秋田県は一番高齢化が進んでいるので、ワーストの粗死亡率を出し続けて「検診を受けて早期発見につなげましょう」という警鐘を鳴らす意味合いではいいが、粗死亡率のワーストが続いているのは、高齢者が多いという生物学的特性もあるため、年齢調整死亡率も出してみるのがいいのではないかと思う。次年度の報告書から検討いただきたい。

- 部 会 長 年齢調整死亡率を出していくことは重要だと思うため、次年度の報告書から追記していきたいと思う。

(議事(3) その他の事項について)

- 事 務 局 (参考資料1～4に基づき説明)
- 利部委員 このデータを見て、今後ともがん検診の受診を周知していきたいと強く感じている。
- 武藤委員 5年生存率と罹患者数はそれぞれ5大がんの中では差があると思われるため、こういった要因がどのように関わっているのか分析をしてほしい。押しなべて悪いということではなくて、比較的結果が良い部位や治療のモダリティが進歩している部位もある。県の事業としてはどちらかというとも早期の検診を重要視しているため、その視点に立った分析で、比較的手遅れにならずに済むような、早期からの介入方法をさらに検討いただければいいのではないかと思う。具体的な対策については、分析の結果に応じて可能な限り我々も協力したい。
- 部 会 長 令和3～5年の全国がん登録罹患者数・率報告書について、令和3年のデータと、令和4年及び5年のデータを比較すると、年齢調整罹患率が大幅に異なっている。約2倍程度の罹患率になっているため、計算方法の変更等があったのではないかとと思われるがその理由は何か。
- 事 務 局 令和3年は基準人口が「昭和60年のモデル日本人口」となっているが、令和4年以降は「平成27年のモデル日本人口」を基準にして計算されている。このモデル日本人口の違いが数値に影響しているものと思われる。
- 部 会 長 承知した。

以上